【実践事例**】**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　リーダー用：様式５（　　　　/　　　　提出）

〇歳児 実践事例 「　　　　　　　」（時期 　月　　日～　月　　日）

○概要

（幼児のどんな姿をとらえた事例か、保育者がどのようなテーマを追いかけて書く事例なのか等、数行でまとめて書く。）

用紙は１枚となっているが、

2枚以上になることが望ましい。

文字のフォントとサイズは自由。

（実践のプロセス）

1. ○○○○　　（遊びの展開の節目に応じて，エピソードのまとまりごとに見出しをつける。）

「　　　　　」(　　月　　日)

＜実践事例を書く際のポイント＞

・可能な範囲で日付を入れる。

・エピソードの前に、これまでの経過や背景に触れた文章を入れてもよい。（数行程度）

・特定の幼児の育ちで、気がかりな状態からの成長ぶりを書きたい場合は、書き方に注意する。（要録に書くような、配慮のある書き方）

・幼児の思いや言葉を見出しにするとわかりやすい。

・保育者から見たポイントでなく、幼児の心が表れている簡単な言葉を取り出す。

・幼児がどのような姿を見せたか、できるだけ具体的にストーリーのように書く。

・活動の説明でなく、幼児の姿を追って、その思いや考えにせまって書く。

・登場人物は、ある幼児の成長にかかわる主要なメンバーだけにする 。

・大勢で遊んでいる場面は、「○○たちが・・・」というように複数いることがわかる書き方にする。

・幼児の育ちに関係する背景や保育者の関わりも簡単に文章に入れる。

・保育者がどんな願いを込めて環境や関わりで仕掛たかについて書く。

・写真を入れる。その遊びや体験のイメージがわかるものがよい。

・写真を撮影するときには、できるだけ低い視線（姿勢）から撮る。

「　　　　　」(　　月　　日)

２．○○○○

「　　　　　」(　　月　　日)

○考察

（遊びの中の学びについて見取ったこと、環境構成や援助について書く。）

（自分自身が悩んだこと、上手くいかなかったこと等について素直な思いを書くとよい。）

（記録を書いたり事例検討をしたりする中で、自分の保育を振り返り、捉え直したことについて書いてもよい。）

「学びをつなぐ希望のバトンカリキュラム（Ｈ31年3月改訂版）」５９p～７５ｐの「事例」や「令和4年度　園内リーダー養成研修受講者による実践事例の記録」の「実践事例」 等を参考にしながら書くとよい。